

■ 年間指導計画の作成への配慮

生活単元学習は「各教科等を合わせた指導」の一つであり、各教科、道徳、特別活動、自立活動の内容を合わせて指導します。そのため、生活単元学習の指導計画を立てる際は、教科別、領域別の指導の指導計画との関連を考慮することが必要です。

また、学校行事との関連を工夫することで、単元への見通しがもちやすくなり、生活単元学習の成果を学校行事で発揮するなど、生活に結び付いた力を効果的に育てることができるようになります。

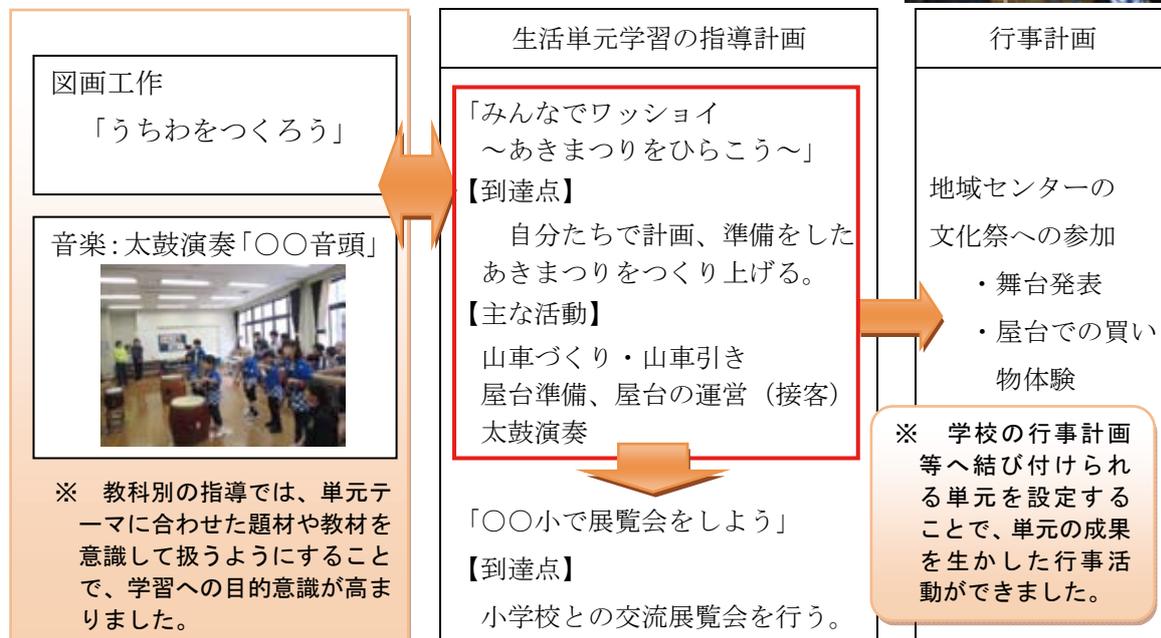
このような、学校生活全体を意識した単元づくりができるような指導計画を作成することが大切です。

ある特別支援学校では、学校全体で指導計画の見直しを行い、到達目標と主となる活動、関連する活動を具体的に示した年間指導計画を作成しました。単元テーマだけでなく、児童・生徒が単元の中で具体的に取り組む活動を書き出したことで、それらの活動が児童・生徒の実態や「できること」を踏まえられているかを確認することができ、単元に関連した指導を行うことで、教科別の指導等の展開も効果的に進めることができるようになりました。

生活単元学習の年間指導計画の改善により、生活単元学習はもとより、他の教科別の指導等の授業改善にもつながります。また、年間指導計画は、書式や記載方法を学校で統一させるなどし、学年や年齢に応じたテーマの設定や活動の広がりなどを学部や学年間で共有し、児童・生徒の成長に応じた単元に取り組むことができるようにすることも大切です。



<行事計画、教科別の指導等とのつながりを考慮した指導計画の例>



生活単元学習では、「できること」を大事に、「役割」のある活動を工夫しながら単元を展開し、児童・生徒が「自ら取り組む」力を育てることを大切にします。

そのためには、学校行事や他の教科別、領域別の指導と関連付け、児童・生徒の生活に生かされることを大事にした年間指導計画の見直しと改善が求められます。